

日本信頼性学会
第26回春季信頼性シンポジウムプログラム

日時：2018年6月4日（月）10:00～19:30

場所：一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル

（敬称略）

	第1会場（地下1階講堂）	第2会場（3階A室）
10:00～11:30	第40回年次総会	—
11:30～12:30	昼食	昼食
12:30～14:00	【特別講演】学校では、安全学をどう教えるべきか？ ～安全学の視点からの安全教育～ 向殿 政男 氏（明治大学名誉教授） 司会：島添敏之（㈱京三製作所）	
14:00～14:10	休憩	休憩
	セッション1 （進化する電子部品・機器の信頼性評価技術とその活用（1）） 司会：土屋英晴（信頼性コンサルタント）	セッション4 （試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面） 司会：島添敏之（㈱京三製作所）
14:10～14:35	故障物性研究会の活動 ○味岡恒夫（故障物性ソリューション）、土屋英晴（信頼性コンサルタント）	HALTにおけるストレスの効果 その4 ランダム振動試験との比較 ピエ ラファエル、平田拓哉、河合秀己、青木雄一（エスペック㈱）
14:35～15:00	セラミックチップ部品のクラック解析技術 ～電位コントラスト法による微小クラックの検出～ ○斎藤 彰（㈱村田製作所）	熱衝撃試験における供試サンプル内温度分布の影響について ○仲田祐希、山田敏行、鈴木浩一、新藤浩之（(国研)宇宙航空研究開発機構）
15:00～15:25	IGBT 静電気破壊品の解析手法とその適用事例 ○金子卓史、神田隆行、東 尚希、薬丸 昇、坂口真司、藤原 優、池本 裕、土屋英晴（㈱クオルテック）	FMEA/FTAの実態の課題と提言—FTA（FDT）の勧め— ○柴田義文（安信経営工学研究所）、長谷部光雄（のっぽ技研）、松岡敏成（機能の安定性と安全の研究會）
15:25～15:35	休憩	休憩
	セッション2 （進化する電子部品・機器の信頼性評価技術とその活用（2）） 司会：土屋英晴（信頼性コンサルタント）	セッション5 （日本オペレーションズ・リサーチ学会 システム信頼性研究部会による オーガナイズドセッション） 司会：木村光宏（法政大学）
15:35～16:00	IoTを活用した放送所設備管理の取組み ○影井誠一郎、長田 茂、清水一馬、有田 渉、山添雅彦（日本放送協会）	2分割及び3分割されるネットワークシステムの最適設計に関する研究 ○村島 慶洋、山本 久志、肖 霄（首都大学東京大学院）、秋葉知昭（千葉工業大学）
16:00～16:25	車載用機器の信頼性評価試験（環境試験） ○今井康雄（沖エンジニアリング㈱）	車載ネットワークCANの評価に関する考察 ○佐藤諒平、福本 聡（首都大学東京大学院）、大原 衛（東京都立産業技術研究センター）
16:25～16:50	Air-HASTによる加速試験とその事例 ○青木雄一、鈴木 聡（エスペック㈱）	Hawkes過程を用いたショックに相關のある劣化システムの信頼性解析 ○太田修平（法政大学大学院）、木村光宏（法政大学）
16:50～17:15	設計ツールとしてのHALT（Highly Accelerated Limit Test）の活用事例紹介 ○松井慶輔（ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ㈱）	ソフトウェア信頼性評価の時間スケールについて 趙 雲路、○土肥 正、岡村 寛之（広島大学大学院）
17:15～17:25	休憩	休憩
	セッション3 システムの保全性・安全性 司会：岩田浩司（(公財)鉄道総合技術研究所）	セッション6 データ収集・解析 司会：高橋 聖（日本大学）
17:25～17:50	予告時間の短縮による踏切鳴動後の進入抑止効果の実験結果 ○錦木俊暁、羽山和紀、畠山 直、村越暁子、宮地由芽子（(公財)鉄道総合技術研究所）	Gabor特徴による電子データの手書き署名 ○内村俊二（第一工業大学）、村岡哲也（元第一工業大学）、池田弘明（元静岡大学）
17:50～18:15	ニューラルネットワークによる軌道回路の状態基準保全に関する考察 ○志田 洋（西日本旅客鉄道㈱）、田村晃裕、二宮 崇、高橋 寛（愛媛大学大学院）	人体に帯電した静電気の除電に関する研究 ○村岡哲也（元第一工業大学）、原川清仁（㈱マルタカテクノ）
18:20～19:30	情報交換会（5階研修室）	